

執行部 反省会

平成二十七年度近畿本部の執行部反省会が十二月十二日㈯、ラヴィーナ姫路で開催された。

担当の涉外部吉田賀芯部長の開会の辞に続いて、魚住会長挨拶の紹介時に十秒以上の沈黙というハプニングがあり、司会者から指名の言葉が出た時に、拍手喝采が湧きあがる。このことが、後の進行に和やかな雰囲気をつくり、盛り上がった反省会となつた。

会長もその場に合ったユーモラスな挨拶で始まり、本年度の諸行事を無事に終えて、今日が迎えられた感謝の気持ちと慰労のお礼を言われた。また、反省会に当つて、次年度に向かっての話し合いが出来る様、時間の許す限りご歓談頂くようになると挨拶を切り上げられる。

続いて宗家より、賀堂流の色々な活動に執行部皆様の尽力・協力に対し、また、今年一年の賀堂流の活動実績に対する執行部及び近畿本部会員のお陰と感謝の気持ちを述べられた。

総本部事業・活動への協力により無事終えられること、近畿本部行事に宗家が参加し、吟を相親しむことへの重ねての感謝の念を述べられた。特に、ふれあいの祭典での優秀な成績、教養部の漢詩講座開催による漢詩への関心度の高まり、研修部の和歌・俳句の指導者研修等各部の諸行事に新しい試みを熱心に取り入れて頂いた結果、楽しい有意義な吟詠活動に参加出来た喜びの気持ちを話され、来年度も元気な多数の申込みを。

太田熟年少年部長 行事に対して皆様のご協力により無事遂行出来有り難うございました。

『少年の集いと吟を楽しむ会』では、宗家より子供達一人ひとりに声を掛け頂き、その姿を見て私たちが学ばなければと。子供たち、熟年の方への温かい眼差しと言葉を掛け、元気で頑張つて頂くとともに、企画も考えていてください。多くの方に参加して頂いていますが、会場の都合で参加は、割当制になつていています。今後、少しでも多くの方が参加出来る様に思う。県連二部にもう少し多くの参加をお願いしたい。大会役員でお世話になつていてる先生へのお礼と来年度も引き続き宜しくお願いしますと締めくられた。



吉田賀芯涉外部長

各大会に於いて他流派に比べて賀堂流はよく声が出ていることが成績に反映している様に思つた。



太田熟年少年部長

会員の高齢化で夜間出にくいことから参加者の減少にどの様に対応していくか。そこで女性のふれあい前年度一チーム編成が、今年は二チーム出来、来年度も同様に考えています。吟部申込者から選抜編成を行うので、広報部の漢詩講座開催による漢詩への関心度の高まり、研修部の和歌・俳句の指導者研修等各部の諸行事に新しい試みを熱心に取り入れて頂いた結果、楽しい有意義な吟詠活動に参加出来た喜びの気持ちを話され、来年度も元気な多数の申込みを。

で抱負が語り合える、この様な楽しい反省会が迎えれるようとに感謝の意を述べて締め括られた。

各部長の反省と抱負発表

事務局・会計部 片岡事務局長 先ず、女性三人に囲まれての仕事は、良い一年を過ごせた。

反省点では、色々と思わぬミスがあり、特に常任理事会で二十八年度行事予定の流碑祭を三月二十一日（春分の日）にしており、指摘されるまで今年は閏年で二十日に気付かず。思い込みから脱却が反省点。会計部は、非常に厳しい財政状況にある為、関係者に協力を自製をお願いします。連絡事項で例年（三月六日）チケットの販売の協力を要請。

溝内教養広報部長 一年を通じて色々な行事を実施し、特に三回の漢詩講座に多数の参加を戴き感謝の念。濤聲には、見過ごしていただけたことに気付かされ、新发现が多くあつたと良い評価の声を聞く。初秋の京都バス旅行・川床料理は風流さを味わえた初体験との好評の声も。食事が付きもの行事では氣を遣

柴田資格審査部長 本年度は構成員変更があり、男子三名女子三名の六名編成で一年間お世話をになりました。一年目には、会員の減少に加えて足踏みをしておられる様子なので、是非、資格獲得にチャレンジして頂きたい。

十年前に比べて資格審査の申込みが半減している。会員の減少に加えて足踏みを持つ練習することは、健康にも繋がる。また、お互いが吟詠を高め合ってくれる。先般、自分なりには自信があつても結果が伴わなかつたことがあります、次年度からは資格審査要項を具体化する必要性を感じた。

二点目は、飾磨市民センターでの駐車の仕方で、他団体利用者との関係で、早く終わつた方が閉じ込められて出られない状況が生じ、これからはこの様な事態が起きないよう事前に利用時間帯を市民センターと調整して、駐車位置を決める様にしたい。

い、食の大切さを実感。反省面では、年間を通じての行事で参加者の中に、顔の見えない副会長があつたのが心残り、次年度からは是非ご参加頂き会員との親睦をお願いしたい。来年度も一生懸命頑張りますので多数の参加協力を。

小川研修部長 本年度は構成員変更があり、男子三名女子三名の六名編成で一年間お世話をこなして頂き、良い意味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部の方に諸行事をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部の方に諸行事をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈おります。

秋季指導者研修会では「和歌・俳句」のみの研修を実施。年間の研修部行事は無事に開催できた。

私事ですが、昨年は、体調不調の為、その間幹部の先生方、執行部の皆様にはお世話をなり、この場を借りてお詫び申し上げます。その間、執行部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈しております。来年度は、それなりに研修部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈おります。

私事ですが、昨年は、体調不調の為、その間幹部の先生方、執行部の皆様にはお世話をなり、この場を借りてお詫び申し上げます。その間、執行部員で一年間お世話をこなして頂き、良い意

味での後継者が育てられたと解釈おります。

県連・総連・財団関係上位成績者

1. 兵庫県吟詠連盟・総連盟関係

県連一部

一次予選（三月九日・四月五日）
賀堂合格…一二二名 出吟…一七七名

入賞…熊谷文花、谷口陽香、大西舞、牛尾百伽

入賞…福井幸子、板倉淳子、岸本邦男

ア・シニア燐々優勝者決定詩吟大会

ジユニアの部

ア・シニア燐々優勝者決定詩吟大会



近畿本部事務局
東姫路駅誕生 便利に！

市川の西側、近畿本部事務局より二分の距離に東姫路駅が誕生し、三月二十六日より利用開始されています。同駅は地上駅舎と相対式ホーム二面を備え、エレベーターを各ホーム一基ずつ設置。快速と普通列車が停車し、平日一日あたりの停車本数は三ノ宮方面六十三本、姫路方面六十五本。事務局へ電車で来られる方には便利になります。

駅周辺は今後とも開発が行われます。事務局西側の倉庫会社の跡地はまだ更地のままで、何ができるのか楽しみです。周辺区域は、全面駐車禁止となつており、事務局に来所の際は気を付けて下さい。

市川の西側、近畿本部事務局より二分の距離に東姫路駅が誕生し、三月二十六日より利用開始されています。同駅は地上駅舎と相対式ホーム二面を備え、エレベーターを各ホーム一基ずつ設置。快速と普通列車が停車し、平日一日あたりの停車本数は三ノ宮方面六十三本、姫路方面六十五本。事務局へ電車で来られる方には便利になります。

駅周辺は今後とも開発が行われます。

昨年に続き、平成二十八年二月十日(水)、この一年間に養父小学校に対してもボランティア活動に従事した人達に、生徒から感謝の気持ちを書いた感謝状がお札の言葉を添えて手渡された。

私の場合、三年生の環境保全の野外活動授業の一つとして、水田の生物調査を生徒に体験してもらつた。実施は、コウノトリ育むお米栽培田で行う。コウノトリ育むお米栽培田で行う。

活動授業の一つとして、水田の生物調査を生徒に体験してもらつた。実施は、コウノトリ育むお米栽培田で行う。

今年度は平成二十七年六月二十五日(木)、午前中に実施。田んぼに入る前に、一区の公会堂で事前学習として、コウノトリ育むお米の栽培方法の説明と田んぼや川の生物について、事前に採取した实物と図鑑で説明を行つた。

コウノトリは肉食で一日に五〇〇gの食糧を必要とすること、食料となる蛙や蛇・その他の魚貝類が必要なこと、それらの生物を繁殖させるには、農薬や化学肥料を使わない栽培方法が必要であり、堆肥や有機肥料を使い生き物が生息しやすい環境を維持することの必要性を学ばせた。(慣行栽培米は農薬指数が一〇~十二、減農薬コウノトリ育むお米栽培では、その指数は、二で抑えられている。)

現場に着くと、裸足で泥田に入るのは初めての生徒ばかり、尻ごみをする者もあつたが、草を刈った土手の感触の良さに慣れ、次には温かい泥田の感触に慣れてきて、事前に学習した生物

を実際に捕えるとはしゃぎ回つていた。また、土中のユシリカやイトモミミズの採取方法に興味を持ち、切り上げる時間になつても田から上がらない者がいた。終わつてからの感想や質問も活発に行つて、そして、その日の夕方に、生徒全員の感想文が届かれ、また、またその後も暑中見舞い・年賀状も送ってきた。小さいころからの軽い感覚をどの様に表すか、教育の一つと校長先生は話しておられた。

このことは別に、昨年、伝統文化の詩吟について話を持ちかけていたのに対し、養父小学校では校長自らが漢詩を教材として取り上げ、詩吟を体験できる機会を与えて欲しいとの相談を受けている。今年は、「朗吟集」を進呈し、今後このことについて話し合う予定である。

このことについては別に、昨年、伝統文化の詩吟について話を持ちかけていたのに対し、養父小学校では校長自らが漢詩を教材として取り上げ、詩吟を体験できる機会を与えて欲しいとの相談を受けている。今年は、「朗吟集」を進呈し、今後このことについて話し合う予定である。

このことは別に、昨年、伝統文化の詩吟について話を持ちかけていたのに対し、養父小学校では校長自らが漢詩を教材として取り上げ、詩吟を体験できる機会を与えて欲しいとの相談を受けている。今年は、「朗吟集」を進呈し、今後このことについて話し合う予定である。

姫路市ふらり自然散策

ナンバンギセル



昨年の中秋の名月はスーパームーンで話題になった。この名月に似合う草といえばススキだが、その株元にひっそり咲く花がある。花の形がまるでマドロスパイプのような形から、ナンバンギセルという舶來じみた名前が付けられたが、純然たる日本の野生植物である。古名は「思ひ草」と呼ばれ、万葉集の一首「道の辺の、尾花（ススキのこと）が下の、思ひ草、今さらさらに、何をか思はむ」にも出てくる。ススキ等のイネ科植物に依存する寄生植物であるが、ススキ群落が少なくなり、目でも池の群落が少なくなった。それでは、ススキの残るところの土手を9月半ばに散策するとここに出逢うことがある。

(姫路市立水族館 三木 徹)

NHKラジオ体操がやってきた 上郡吟詠会



地域での活動報告

北辰吟詠会 小島賀征篁

東播吟詠会 古石賀恵暁

東はりま芸能祭

第三十三回東はりま芸能祭

平成二十八年三月六日に三木市文化会館で開催

区詩吟同好会が参加しました。

構成 黒田賀

山本賀耿媛、音響…萩野賀耿昌

第33回東はりま芸能祭

耿、ナ



のは、入門されてお嬢さんが堂々と大きく育つて欲なりました。二部の始まり。漢詩の吟詠の時間です。稽古の成果を充分に發揮され、内容のある吟詠が続き会場の雰囲気も最高潮。

詠会の会員が共に一致団結して取り組みましょう」との話があり、その意気込みが今回の大会で反映された。平成二十九年に開催の近畿本部創立五十周年記念大会などで和歌・俳句を採用するとの方針に沿って、早く慣れて好きになつて出吟して欲しいとの挨拶があつた。

各役員の先生から講評があり。

①和歌の出だしは声が高くなりがちなので注意する

②京都で言うところの「はんなりした味」で賀堂流の良さを守つていく。

③前の出吟者の音程に引きずられないように。

④詩吟を続けられるのは師匠・家族・仲間のお蔭と感謝する。



始まり、国旗敬礼・国歌斉唱を田中賀月峰理事長のもとに行われる。

次に物故会員慰靈黙祷及び会詩合吟を飯塚賀照副会长のもとに行われ、開会のことばを三宅賀巧副会长が述べられる。

会員吟詠に入り一番は都出さん、吟題は「餘生」淫刺とした声が会場に響く吟詠の中間で一部が終了、休憩。その後会長挨拶（山下賀久峰名誉会長）宗家儀部賀堂先生より祝辞を拝聴する（日本）をめざして胸を張つて

吟詠二部が開始、「あたりまえ」を



险道粗浅浅细水长流，人生如戏，一念以蔽之，一念以救之。



第二十五回東播吟詠会総会が平成二十八年二月十一日午前中に開催された。午後からは吟詠大会に切り替わり、終日新しい年にふさわしく張りつめた空気の中にも、春の香りのするお花に迎えられて皆さん和やかに過ごされました。初心者から熟年の方々それぞれのランクに応じた吟詠をされていました。たと感じました。特に先生方には、年輪を感じる吟を聞かせて頂きました。年に一度の発表会、皆さん緊張の中にも笑い声の絶えない楽しい一日を過ごされていました。

プログラムの編集に取り掛かる。他の吟詠会のプログラムを参考に十二名の会員が知恵と汗をかいて必死に作成しました。

意、記念品も作るなど。また会場の設営
横断幕・看板作りには会員の家族も手
伝つてくれました。

そして当日を迎えました。晴天の昼
下がりの午後一時開会。十二時過ぎに
は来場者用の駐車場が一杯の盛況。相
坂公民館始まつて以来の来場者に地元
の方も驚かれていた。会場内では受付
の記帳がし難いほどに混雑していた
見に來たよ。ガンバッテ。久しづり
有難う。色々な声援に胸が熱くなり涙
が止まらなかつた。会員やお客様一人



が候補に挙がる。一二〇名程度が収容できる規模である。山本賀流先生の口添えもあって無事にお借りすることが出来た。プロの作成に関して故福岡賀香承先生の親友である高井先生のご協力で何とか作成に漕ぎ着けた。当日何名のお客様が来て下さるのか不安がよぎる。少なくとも半数程度は来て欲しい。満席に何とかしたい。会員一人が十名集めるというノルマを課しました。各自が家族・親戚・友人・趣味の仲間・地域の人達などに声掛け、開催日直前まで最後のお願いをしました。内容についても各人の吟詠、ナレーション、扇舞が観客に喜んでもらえるか悩み、練習に精を出し最高の演技で臨むよう誓いあつた。中播吟詠会を退会されたり輩から「当日出席するよ。ガンバッテな」と声をかけてもらった。先輩方にも喜びを与える大会にしようと再確

式典は大会次第通り進行。若い方の「あんな力強い君が代斎唱は初めて聞いた」との声が聞こえ、会員の吟詠も練習の成果を發揮させていた。構成吟では一人何役も演じて。一丸となつて成功させる気持ちが溢れていた。

構成吟の最後に童謡『ふるさと』をお客様と一緒に合唱。素晴らしいハーモニーが会場に響いていた。私は「皆さん本当にありがとう」と叫ばずにはいられない心境でした。来賓の先生方の吟聲に初めて接した人達から「感動した」と言う言葉を頂いた。記念式典を無事に終え改めて、今は亡き諸先生方の魂と会場にお運び頂いたお客様が熱心に最後まで拝聴してくれたお蔭と感

吟詠会だより

東都物語全編

五十周年記念大会



中播吟詠会 藤尾賀定京
平成二十七年

が候補に挙がる。一二〇名程度が収容できる規模である。山本賀流先生の口添えもあって無事にお借りすることが出来た。プロの作成に関して故福岡賀香承先生の親友である高井先生のご協力で何とか作成に漕ぎ着けた。当日何名のお客様が来て下さるのか不安がよぎる。少なくとも半数程度は来て欲しい

の功績や縁をつくづく感じました。会場は一二〇席が満席となり、急遽座布団を用意して一七〇名で溢れましたお客様に感謝。

ユニークな秋季発表大会

平成二十七年十一月二十二日備前市日生町の民宿「釣り幸」において、親睦を重点に第五十七回秋季吟詠発表大会が開催されました。

備州吟詠会 山崎賀楼明



でマスターして欲しいと要望された。最後の質疑応答では「上あげ、中の引き下げ、二重引き下げなど色々まちまちに吟じられているがどれが正しいのか」「小節の練習方法は」と質問があり、最低限押さえるべき基本点と許容される範囲など微妙な点について範吟で具体的に指導され、予定時間をオーバーしての熱いこもつた研修会になつた。

魚住、井上両先生には朝から長時間、熱心にご指導頂き、充実した一日となりました。ありがとうございました。

大会の進め方もユニークでまず抽選で座席が決まる。続いて岸瀬会長の快活なテンポの開会挨拶で吟詠が始まると、格式張ったものは一切なく大会プログラムも無い。出吟者は司会に出吟票を提示。その後紹介を受けてマイク片手に伴奏をもつて吟を始める。寸評は奥田賀敬法先生。明るいジョーク交じりのコメントで出吟の皆さんも和やかな雰囲気に浸つていく。今大会では多くの部が終了。

昼食には新鮮が自慢の会席料理が次々と運ばれてくる。美しい器を愛でながら歓談し賞味する。料理を前に早ラオケに旧懐し現在を観る。舞踊やかくし芸など一人一芸の待望の時間である。赤穂の義士祭に因んだ歌謡浪曲の長編を谷本先生が熱演され、その名調子で一同魅了され大会を印象深いものにされた。重ねて出演する人も続出し

てマスターして欲しいと要望された。最後の質疑応答では「上あげ、中の引き下げ、二重引き下げなど色々まちまちに吟じられているがどれが正しいのか」「小節の練習方法は」と質問があり、最低限押さえるべき基本点と許容される範囲など微妙な点について範吟で具体的に指導され、予定時間をオーバーしての熱いこもつた研修会になつた。

魚住、井上両先生には朝から長時間、熱心にご指導頂き、充実した一日となりました。ありがとうございました。

大会の進め方もユニークでまず抽選で座席が決まる。続いて岸瀬会長の快活なテンポの開会挨拶で吟詠が始まると、格式張ったものは一切なく大会プログラムも無い。出吟者は司会に出吟票を提示。その後紹介を受けてマイク片手に伴奏をもつて吟を始める。寸評は奥田賀敬法先生。明るいジョーク交じりのコメントで出吟の皆さんも和やかな雰囲気に浸つていく。今大会では多くの部が終了。

昼食には新鮮が自慢の会席料理が次々と運ばれてくる。美しい器を愛でながら歓談し賞味する。料理を前に早ラオケに旧懐し現在を観る。舞踊やかくし芸など一人一芸の待望の時間である。赤穂の義士祭に因んだ歌謡浪曲の長編を谷本先生が熱演され、その名調子で一同魅了され大会を印象深いものにされた。重ねて出演する人も続出し

会を開催。昭和五十三年に既存の活動記念大会を開催した。以来大会が毎年実施され特にこの二十年間は春秋二回が継続して行われている。通算すれば今回が五十七回目の大会となる。合併前後の活動を含めると独自で十三回大會を実施していく、トータルで言うと七十回目と言つても過言でない。(清風吟詠会調べ)

大会の進め方もユニークでまず抽選で座席が決まる。続いて岸瀬会長の快活なテンポの開会挨拶で吟詠が始まる。格式張ったものは一切なく大会プログラムも無い。出吟者は司会に出吟票を提示。その後紹介を受けてマイク片手に伴奏をもつて吟を始める。寸評は奥田賀敬法先生。明るいジョーク交じりのコメントで出吟の皆さんも和やかな雰囲気に浸つていく。今大会では多くの部が終了。

昼食には新鮮が自慢の会席料理が次々と運ばれてくる。美しい器を愛でながら歓談し賞味する。料理を前に早ラオケに旧懐し現在を観る。舞踊やかくし芸など一人一芸の待望の時間である。赤穂の義士祭に因んだ歌謡浪曲の長編を谷本先生が熱演され、その名調子で一同魅了され大会を印象深いものにされた。重ねて出演する人も続出し

会を開催。昭和五十三年に既存の活動記念大会を開催した。以来大会が毎年実施され特にこの二十年間は春秋二回が継続して行われている。通算すれば今回が五十七回目の大会となる。合併前後の活動を含めると独自で十三回大會を実施していく、トータルで言うと七十回目と言つても過言でない。(清風吟詠会調べ)

北辰吟詠会 小島賀征肇

平成二十八年二月十四日(日)、午後から網干市民センター音楽教室にて指導者、肥塚賀禮会長・石井賀崇石副会長を迎えて開催。指導者を含めて参加者二十四名。はじめに片岡事務長から事務連絡報告。北辰の会員状況は、再登録会員五十六名、新人会員三名、少年六名の総勢六十五名(昨年:六十九名)。その他各種行事および申込み期限等の連絡。

続いて、肥塚会長より挨拶の中での吟の意義を話された。特に、他人の吟を聞き、その良いところ悪いところの解説が聞きける良い機会なので、自分と比較また置換えて吟詠を研究する場。特に、指導者は指導の仕方について、普段指導している内容と違つていることころもあると思われる。研修会の意義を話された。特に、他人の吟を聴き、その良いところ悪いところの解説が聞きける良い機会なので、自分と比較また置換えて吟詠を研究する場。特に、指導者は指導の仕方について、普段指導している内容と違つていることころもあると思われる。

時間一杯盛況であった。和気藹々で満面笑顔のなか、次回の大会を約束して閉会が告げられた。温暖な好天に感謝しつつ会員一同は帰路についた。

北辰吟詠会 小島賀征肇

平成二十八年二月十四日(日)、午後から網干市民センター音楽教室にて指導者、肥塚賀禮会長・石井賀崇石副会長を迎えて開催。指導者を含めて参加者二十四名。はじめに片岡事務長から事務連絡報告。北辰の会員状況は、再登録会員五十六名、新人会員三名、少年六名の総勢六十五名(昨年:六十九名)。その他各種行事および申込み期限等の連絡。

続いて、肥塚会長より挨拶の中での吟の意義を話された。特に、他人の吟を聞き、その良いところ悪いところの解説が聞きける良い機会なので、自分と比較また置換えて吟詠を研究する場。特に、指導者は指導の仕方について、普段指導している内容と違つていることころもあると思われる。研修会の意義を話された。特に、他人の吟を聴き、その良いところ悪いところの解説が聞きける良い機会なので、自分と比較また置換えて吟詠を研究する場。特に、指導者は指導の仕方について、普段指導している内容と違つていることころもあると思われる。

時間一杯盛況であった。和気藹々で満面笑顔のなか、次回の大会を約束して閉会が告げられた。温暖な好天に感謝しつつ会員一同は帰路についた。

篠の丸吟詠会 平野賀烽照

平成二十八年二月十三日に宍粟市防災センターで、篠の丸吟詠会定期総会と親睦会を開催致しました。

二十八年度再登録数は一般会員十九名、少年会員四名の計二十三名ですが、今回十五名の会員の方が参加しました。

免許証授与、会員吟詠と進み、日頃練習している吟を一人ずつ披露しました。

谷笛賀烽照先生のビックリ手品では、子供たちの目をくぎづけにし、見事な手さばきを披露して頂き会を盛り上げて下さいました。

その後カラオケ、お楽しみ抽選会と進み十四時に和やかな雰囲気で閉会しました。

「篠の丸吟詠会」「明るいニュース」を平野賀烽照が今年から加古川教室を開きました。



赤穂吟詠会 藤井賀宝信

平成二十八年一月三十一日、赤穂口イヤルホテルにて赤穂吟詠会の新春初期詠会を開催。来賓に初めて議部賀堂宗家をお招きしました。

会は木山賀茎会長の挨拶で始まり、その中で宗家と赤穂吟詠会との繋がりを次のように分かり易く説明されました。「昭和十一年七月に、赤穂大石神社に於いて当時の宮司を会長として詩吟の会発足に際し、初代宗家を招いて詩吟会式が行われ、赤穂双巴(二つともえ)詩吟会として発足し、今日に至っています」

次に、宗家より「新春初吟会が、この様に華やかに開催されますことお慶び申し上げます。昨年は平山賀宝弓さんが県連・愛連で吟士権の四冠達成の表彰を達成され、賀堂流の名

を高めてくださいました。また、他の大会でも幼少から熟年まで多くの方が参加され良い成績を挙げておられました。今後も大いに発展して行かれることを望みます」との挨拶を頂きました。

会詩合吟は、最高齢者の塩崎賀雄幸の力強いリードで始まり、会員吟詠は宗家の前で皆さん、例年より気合の入った熟吟が最後まで続きました。宗家の和歌「敷島の」を拝聴して吟詠発表を終える。その後、藤木賀望さんより宗家へ花束贈呈、木山会長より平山賀宝弓さんへの吟士権四冠達成の表彰授与等のセレモニーを経て、美味しい昼食タイムから楽しい懇親会へと移る。少年少女が主体になって進行したビンゴゲームを楽しみ全員が素晴らしい商品を戴きました。カラオケでは、西郷隆盛に扮して「田原坂の戦い」を

北播吟詠会 大西 賀晰

北播吟詠会は二月七日、魚住賀久会長、井上賀晴和先生を講師に迎え、福岡町研修センターで研修会を開催した。研修会には会員三十三名が参加、ランク別、県連など競吟出場者や昇格審査の受審者を中心に、独吟、個人毎に指導を受ける形で進められた。

研修は他の参加者にも参考になるよう高度な内容について、範吟を多用しながら、分かり易く時間をかけて細かく指導され、出吟者の吟がその場で見違えるよう良くなるなど濃密で内容のある研修であった。

腹筋を使つた发声、腹筋を意識しながら節尻やミ音(宮音)を安定させる、詩文の運びや間、緩急、強弱などについて範吟をしながら繰り返し指導された。また、補足として、出だしの引きゆり、二重引き下げ、入れのある一本上など県連出吟者は避ける傾向にあるが他流も上手く取れ入れているなど賀堂流の節調は素晴らしいものがある

演じたり、子供達はアナ雪の「ありのまま」で、青年は「乾杯」を歌う等々、皆さん自慢のノドを競っていました。宗家も一曲披露して頂き、拍手喝采のうちに楽しい宴もあつという間に過ぎてしましました。

最後に、来年も皆さんと元気な姿でお会いできることを約束して散会でした。



明るいニュース

生徒第一号の釣田聰子さんは、三十一年前に清水賀操先生の教室で練習されしていましたが、仕事の変更に伴い吟から遠のいておられました。昨年、篠の丸吟詠会の看板が目にとまり、大きな声を出してストレスを発散したいとの事で、今年から月三回練習しております。

教える事の難しさを感じながらこの教室が発展する様頑張ります。

年前に清水賀操先生の教室で練習されしていましたが、仕事の変更に伴い吟から遠のいておられました。昨年、篠の丸吟詠会の看板が目にとまり、大きな声を出してストレスを発散したいとの事で、今年から月三回練習しております。

生徒第一号の釣田聰子さんは、三十一年前に清水賀操先生の教室で練習されしていましたが、仕事の変更に伴い吟から遠のいておられました。昨年、篠の丸吟詠会の看板が目にとまり、大きな声を出してストレスを発散したいとの事で、今年から月三回練習しております。

演じたり、子供達はアナ雪の「ありのまま」で、青年は「乾杯」を歌う等々、皆さん自慢のノドを競っていました。宗家も一曲披露して頂き、拍手喝采のうちに楽しい宴もあつという間に過ぎてしましました。

最後に、来年も皆さんと元気な姿でお会いできることを約束して散会でした。

熱のこもつた研修会

北播吟詠会 大西 賀晰

北播吟詠会は二月七日、魚住賀久会長、井上賀晴和先生を講師に迎え、福岡町研修センターで研修会を開催した。研修会には会員三十三名が参加、ランク別、県連など競吟出場者や昇格審査の受審者を中心に、独吟、個人毎に指導を受ける形で進められた。

研修は他の参加者にも参考になるよう高度な内容について、範吟を多用しながら、分かり易く時間をかけて細かく指導され、出吟者の吟がその場で見違えるよう良くなるなど濃密で内容のある研修であった。

腹筋を使つた发声、腹筋を意識しながら節尻やミ音(宮音)を安定させる、詩文の運びや間、緩急、強弱などについて範吟をしながら繰り返し指導された。また、補足として、出だしの引きゆり、二重引き下げ、入れのある一本上など県連出吟者は避ける傾向にあるが他流も上手く取れ入れているなど賀堂流の節調は素晴らしいものがある

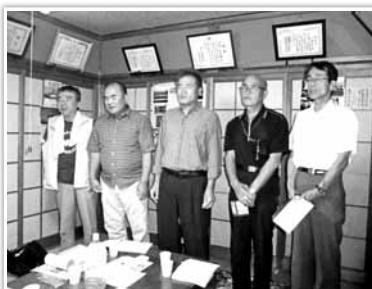
平成27年7月31日(金)、伊沢の里で親睦会と歓迎会を兼ねて9名の方が参加されました。当吟詠会に山田栄基さんと立石賢二さん男性2名の方が入会。会員の詩吟を披露しました。

第25回吟士権大会に出場する5人合吟の練習をしている皆さんです。

篠の丸吟詠会の会員が少なくなり、あおい吟詠会から、木下賀一清先生にお願いしました。小田賀峰先生に篠の丸通信を発行していただいております。

8月14日、第6号が届きました。

内容は、今年から篠の丸吟詠会のみなさんが活躍されている様子・連絡事項などを掲載した通信です。



篠の丸吟詠会



林田吟詠会



東播吟詠会



林田吟詠会は、自然豊かな城下町林田で活動する会員6名の吟詠会です。
河野鉄兜ゆかりの「敬業館」に隣接する公民館にて、月2回の練習を和やかに行っています。
(山本賀精耕)

鳳月会 指導者：肥塚会長
ああ～今日も来てよかったです！



最上支部 場所：進藤支部長宅 離部屋2階
日時：第1週火曜日 午後8時～



最上野々上支部

指導者：岸本指導
場所：井上賀麗勝宅

北辰吟詠会

鳳月会 指導者：肥塚会長

ああ～今日も来てよかったです！



成田賀葵先生教室 場所：栗賀公民館
日時：毎週水曜日

暑くても寒くても皆で大きな声で吟じ、スカッとして帰るのが唯一のストレス解消です。



八木賀崇桜先生教室 場所：公民館
日時：毎週火曜日

皆さん、ながーい付き合いで自慢の仲良しへループです。先生は、お稽古は厳しいですが、心優しく、生徒は楽天的です。



備州吟詠会



練習会場



吟詠会稽古場のご案内〈第2回〉

但馬吟詠会

毎週月曜日13時から地区公民館でお稽古・舞台もマイクも上々です。



うすき吟詠会

鰯鍋で猛暑を乗り切る

8月4日、余部詩吟クラブ教室では、練習後それが食材を持ち寄り、夏バテ防止にと鰯(うなぎ)ならぬ“鰯鍋”と、冷たい一杯を飲みながら、詩吟談義に楽しいひとときを過ごした。
(田中千孝)



あおい吟詠会

昭和53年には196名の会員がいましたが、昭和54年以降会員の減少傾向が止まらず、昭和63年には遂に半減し、平成27年度の会員は13名になっております。

少ない会員ですが、平成24年より毎月第3土曜日、ネスパルやすとみで福原賀清道先生の指導のもと漢詩、和歌、俳句など一人一声出して帰るよう頑張っています。
(古川賀粹峰)



市川吟詠会

